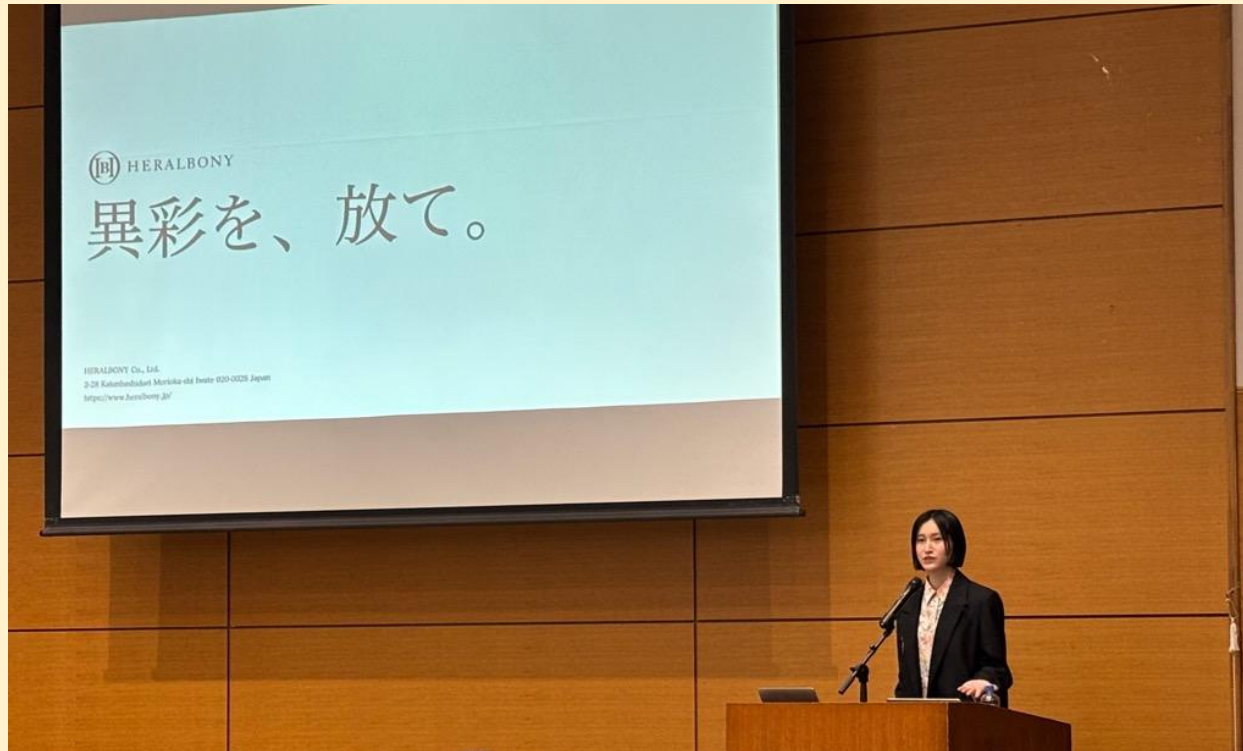


第1部講演

アートで変革「異彩を、放て。」 ～“協働”から生まれる新しい文化～



【講師】

株式会社ヘラルボニー 広報室 安藤 奈穂氏

<講師プロフィール>

Naho Ando

安藤 奈穂

ヘラルボニー広報室 真マネージャー。

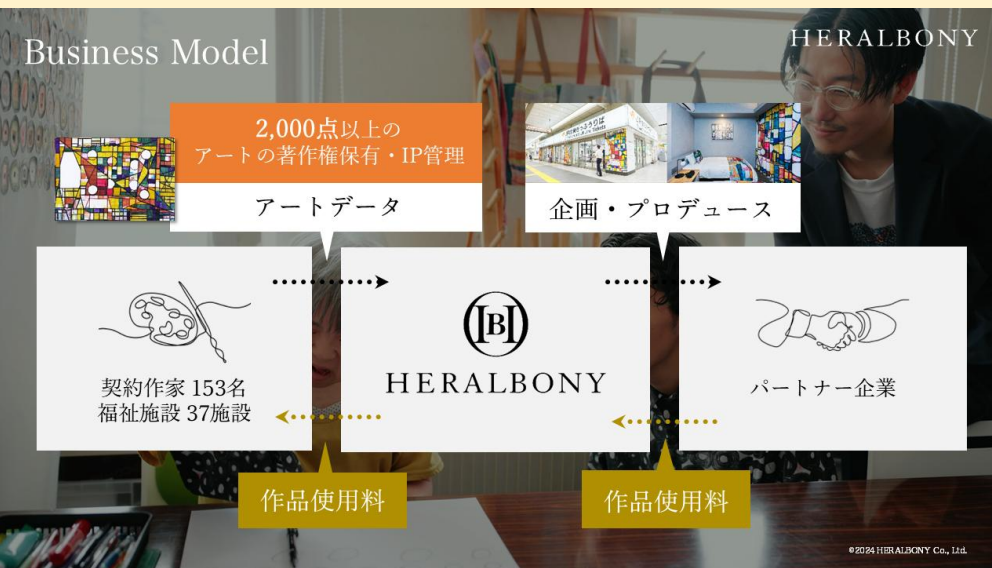
前職では株式会社USENのセールスとして美容サロンの店舗開業支援に従事。

6つ上の姉が指定難病のレット症候群であったこと、「違いを認める」社会を目指す両代表の想いに共感し、ヘラルボニーへ転職。

ヘラルボニーの思想や作家の異彩を社会に届けるべく、企業広報のほか、自社ブランドHERALBONYのPRも担う。



《講演資料》



★作家と企業をつなぐ「ライセンス」という共創モデル

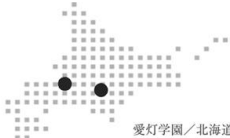
《講演資料》

■ Artists

69の施設
276名の作家
69 facilities 276 artists



*2025年7月1日時点



愛灯学園／北海道

るんびに美術館／岩手

多夢多夢舎中山工房／宮城

はじまりの美術館／福島

自然生クラブ／茨城

のぞみの家／東京

さふらん生活園／愛知

やまなみ工房／滋賀

あいアイ美術館／埼玉

アトリエやっほ!!／京都

スウィング／京都

希望の園／三重

HAP-lab／広島

からふる／鳥取



アトリエブラヴォ／福岡

PICEA／佐賀

わかたけアート／沖縄



© 2025 HERALBONY Co., Ltd. All Rights Reserved.



HERALBONY

支援やチャリティーではない
対等で持続的可能なビジネスモデル

© 2024 HERALBONY Co., Ltd.

作家がいてこそビジネスが成り立つ
「逆転の支援構造」！



└スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社



└日本航空株式会社（JAL）

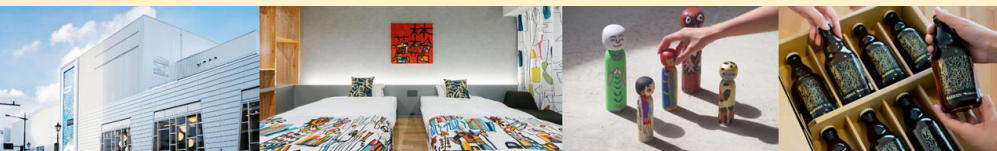


└東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）



└株式会社コーセーホールディングス（KOSE）

岩手異彩化



©HERALBONY Co., Ltd.

ヘラルボニー初となる
アートラッピングバスが
盛岡のまちの景色を彩る。

2023年10月10日運行開始



ヘラルボニーが目指すのは「美しい」ただそれだけではありません。「ヘラルボニーだから大丈夫」と個性を受け入れやすい空間をつくり、利用される方々の心のハードルを下げることも重要だと考えています。そこで、運行開始前にはヘラルボニーバスが「もっと優しいバス」になるためには何が必要か、盛岡市の中学生に課題や解決策を提示してもらった特別課外授業も企画しました。全世代の方が、バスの利用について改めて考えるきっかけに。



地域に新たなツーリズムを創出し
異彩×観光をさらに推進していく。

-JR釜石線の全面アートラッピング列車-

2023年10月から約2年間、アートデザインに施したラッピング列車を県内の主に釜石線花巻ー釜石駅間と東北線花巻ー盛岡駅間で走行。岩手らしさや東北の豊かな自然が連想できるとして選ばれた陸前高田市の作家・田崎飛鳥が描いた「森の道・赤い森」「森の道・青い森」が、旅行客の思い出と地域を彩ります。



■ これまでの共創の取り組み



全国放送に取り上げられる中でも、「岩手」を起点とした取り組みを伝え続けています。

©2024 HERALBONY Co., Ltd. PROPRIETARY & CONFIDENTIAL

～新しい1歩を踏み出す時は、本拠地・岩手から始める～

《講演資料》

愛媛県内の企業とも協働！



ユニテッドシルク株式会社



2024年夏、パリに子会社を設立。
初の海外進出で最高品質のスカーフを
現地で披露した！



《講演資料》

才能は、
披露してはじめて、
才能になる。



「障害」 = 欠落
「障害者が作った」 = 安い
を変える。

We will change the stereotype of

“Disability” = Lack

“Products made by people with disabilities” = Cheap

© 2023 HERALBONY Co., Ltd.

アートを見て、
美しいと感じる経験から
作家への尊敬が生まれる。

支援すべき存在

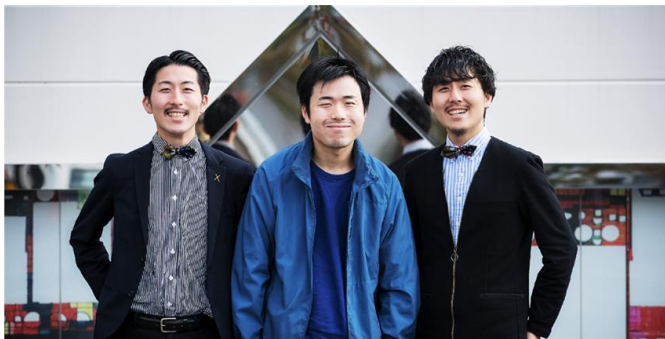
→ リスペクトする存在へ

© 2023 HERALBONY Co., Ltd.

★障害に対する社会のイメージを根本から変えていく！

1. 「障害者」という言葉を使わない

例：障害者の自立支援をするヘラルボニー



ヘラルボニーが大切にしているワーディングスタンス

あえて「障害」と表記することについて

「障害」という言葉には多様な価値観があり、それぞれの考えを否定する意図はないことを前提としたうえで、ヘラルボニーでは「障害」という表記で統一しています。「害」という漢字を敬えて用いて表現する理由は、社会側に障壁があるという考え方に基いているためです。

「障害」という概念は、主として「個人モデル」と「社会モデル」の2つの観点から定義されています。障害の原因はインペアメント(=心身の機能障害)にあるとし、障害の負担が個人に押しつけられてしまうのが「個人モデル」であるのに対して、障害をインペアメントではなく、社会的障壁として捉えるのが「社会モデル」です(石尾 純美、2012)。ヘラルボニーでは「障害」を後者の観点でとらえ、その存在を社会に問題提起したいという思いから表現を統一しています。

「障害を持つ」と「障害がある」の違い

障害を「持つ」という表現は、何らかの障害や疾病を患っているその人に障害がある、つまりその人自身が障害を抱えている(持っている)という意味合いになります。一方で、障害「がある」という表現では、何らかの障害や疾病を患っているその人が、社会生活を送る上などで障害が起こる、つまりその人自身に障害があるのではなくその人が存在する社会や環境に障害があるとという意味合いになります。以上のことから、ヘラルボニーでは後者の観点から「障害がある」で表現を統一しています。

「支援」「貢献」という言葉は使わない

ヘラルボニーは「従来の福祉領域の拡張」を行動指針に掲げていますが、非営利団体ではありません。一営利企業組織として「ビジネス」という手段によって持続的な収益化を実現することで、障害のある方々の社会的な地位の向上と月額平均賃金の上昇を目指しています。このような社会にたいするスタンスが、重要なコーポレートアイデンティティとなっています。

NG	理由	OK	補足
(障害を)持つ	障害は本人の自発的な意思によるものではないため。	(障害)のある	
(知的)障害者	「障害」のある人を一括りにする表現であるため。	(障害のある)作家 障害のある人	
障害者アート アウトサイダー・アート	「障害者」や「アウトサイダー」といったマイリテイクの烙印が強調されてしまうことで、差別的な表現につながる可能性があるため。	(障害のある)作家が描くアート アール・ブリュット	最下部を参照。
(福祉施設に)所属する利用者 (ヘラルボニーの)所属作家	「福祉施設の利用者」として契約を結んでいるという、事実と異なる印象を与えるため。 作家はヘラルボニー社に所属していないため。	(福祉施設に)在籍する作家 (ヘラルボニーの)契約作家	所属ではなく在籍。
支援・サポート 障害(者)自立支援	「支援」や「サポート」という言葉は、支援者側から見て「支援」を受ける側を指す言葉であり、支援者側から見て「支援」を受ける側を指す言葉ではないため。 また「作品を授けよう」という「支援」を表現して「授けよう」という言葉は、上下関係が生じてしまうためNGとしています。	作家や福祉施設に報酬を支払う	アート作品として「授けよう」という言葉は、支援者側から見て「支援」を受ける側を指す言葉ではないため。

(参照)アール・ブリュットとは

「アール・ブリュット(Art Brut)」という言葉は、フランスの画家、ジャン・デュブッフ(Jean Dubuffet 1901-1985)によって考案された言葉で、既存の美術や文化潮流とは無縁の文脈によって制作された芸術作品を指します。フランス語の「art brut」が語源で「生の芸術」とも訳され、芸術的な訓練や影響を受けていない人が、自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術で、芸術的な訓練や影響を受ける環境になかった知的障害者や精神障害者による独創的な作品が国内外で注目されています。

2.洗練された空間、ビジュアルにこだわる



メディア15媒体、20名が参加

エルジャポン、ファッション通信、ELLE DECOR、装苑

WWDJAPAN、pen、STORY、織研新聞、FRaU、NESTBOWL 等

ブランド 展示会「HERALBONY ISAI Exhibition」(2024年)

海外PR | Artistes et HERALBONY (2024年)

パリ・ファッションウィーク期間に合わせ

マレ地区のアートギャラリーで展示会を開催

現地メディア他、WWD、装苑、マリクレール、Numeroなど



就労継続支援B型の月額平均賃金

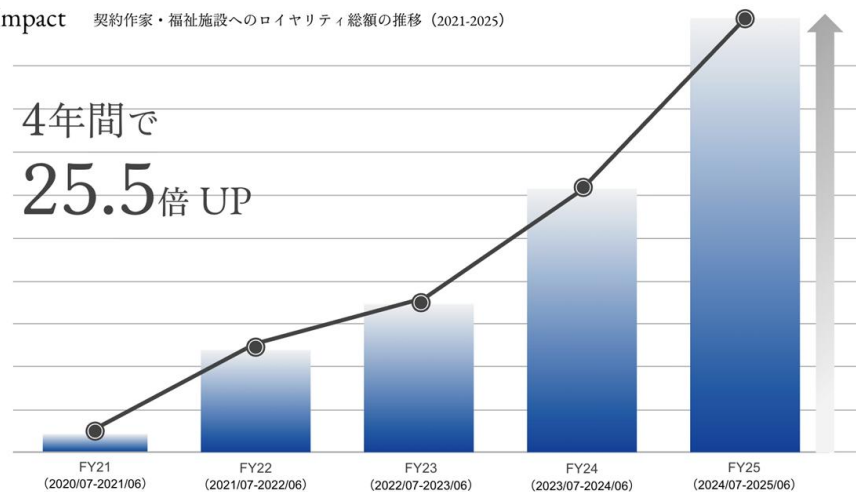
16,118円

出典：厚生労働省（2023）

©2024 HERALBONY Co., Ltd.

■ Impact 契約作家・福祉施設へのロイヤリティ総額の推移（2021-2025）

4年間で
25.5倍UP



©2025 HERALBONY Co., Ltd. All Rights Reserved.

20

実際に届いた家族からのメッセージ

2021年12月 作家ご家族のmessengerより（一部抜粋）

年明けには所得税の確定申告がはじまりますが、
本年ではヘラルボニーのみなさんのおかげで
息子はXXX万ほど稼ぎ出しました。
扶養の基準を超えており確定申告をすることとなります。
息子に扶養されるという冗談のような話が
現実になる日がくるかもしれませんね。

As the new year begins, the season for filing income tax returns approaches. This year, thanks to the efforts of everyone at Heralbony, my son has earned about 3 million yen. He has exceeded the dependency threshold, so we will need to file a tax return for him. The joke about being financially supported by my son might actually become a reality one day.

文登さん
今日から息子が年末年始の休みとなるため、お迎えに行きましたら、ヘラルボニーからの高価なグッズが！！
いつも心遣いいただき本当にありがとうございます。
こんなに一杯いただいているのかと妻も恐縮しています。

年明けには所得税の確定申告がはじまりますが、本年はヘラルボニーの皆さんのおかげで息子はXXX万ほど稼ぎ出しました。

も扶養の基準を超えており確定申告をすることとなります。
息子に扶養されるという冗談のような話が現実になる日がくるかもしれませんね。
新年もどうぞよろしく願いいたします。

©2024 HERALBONY Co., Ltd.



2023年1月31日＝”異彩”の日

確定申告を控えた時期

国税局に続く霞ヶ関の駅構内に
ポスター掲出

プレスリリースを同時に発信し、
SNSでも話題を呼び起こした

©2024 HERALBONY Co., Ltd.

★作業所等の低工賃（社会課題）に対する実践的解答！

ヘラルボニーの目指す未来

世界の市場規模

13 億人

障害のある人の数

Population of People
with Disabilities

世界人口の約15%

約6人に1人

HERALBONY Co., Ltd.

ヘラルボニーが目指す世界

「障害」のイメージを変え、
80億人の異彩がありのままに生きる
社会の実現。

Change society's preconceptions about disability
and create a world where 8 billion people can radiate their colors and
celebrate who they are.

©2023 HERALBONY Co., Ltd.

「異彩」を拡張。
ありのまが肯定される社会へ。

異彩



Bringing uniqueness of all people
toward a diverse and inclusive society



©2023 HERALBONY Co., Ltd.